

新聞 緑栄

広報くろさき版
学校紹介特別号
昭和61年10月1日
新潟県立黒埼高等学校
生徒会
(広報委員会)

新！創造を目標として

がんばる黒高生

黒高生の一年は、毎年入学式から始まります。新一年生が式場に緊張して入場してきます。はつらつと元気な一年生。クラブ活動に勉強に一所懸命頑張ろうとする心、それを忘れずいつまでも持ち続けて欲しいものです。身体計測、オリエンテーションなどであわただしい四月が終わり、五月晴れのころになると中間テストが始まります。中学時代と違って不合格点があり、単位不認定といつこと

もありませんから頑張らなければなりません。六月、生徒みんなの待ちに待った体育祭が行われます。綱引きに、百メートル競争に、応援合戦にこの日はかりは我を

忘れてしまいます。長い夏休みが終わると三年生は就職試験に迫られる毎日となります。一生を決める重要な時期です。慎重に選びましょう。二年生は高校時代のおおきな思い出を作る広島・京都への修学旅行に旅立ちます。自分たちで計画した場所を見て歩くのはこの上なく楽しいものです。また、秋はスポーツの季節です。大会なども多い時期です。夏休みの合宿、日ごろの練習の成果を発揮するのはこのときです。十一月、紅葉の深まりとともに文化祭が催されます。模擬店、ステージ発表や餅つき大会など、父兄や小中学生を交えて、校内は一時おおいに賑やかになります。どれもこれも高校生活の、青春のかけがえのない思い出ばかりです。

期末テストが終わって冬休みになり、そして白い雪が消え始めるころ、全課程を終えた三年生は、会社へ、専門学校や大学へと飛び立って行きます。これからの長い人生、いろんなことがあるでしょうが、挫折せずに頑張っていってほしいと思います。桜の蕾がふくらみ始めるころ、校内は可愛いセーラー服や学生服にあふれます。入学試験です。一所懸命に答案に鉛筆を走らす姿、合格発表の掲示に自分の番号を見つけて飛びあがって喜ぶ姿。また期待に燃えて新学期が始まります。

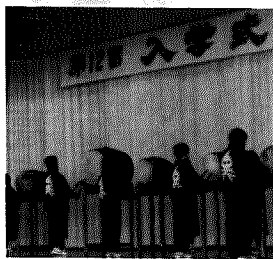
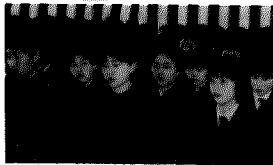
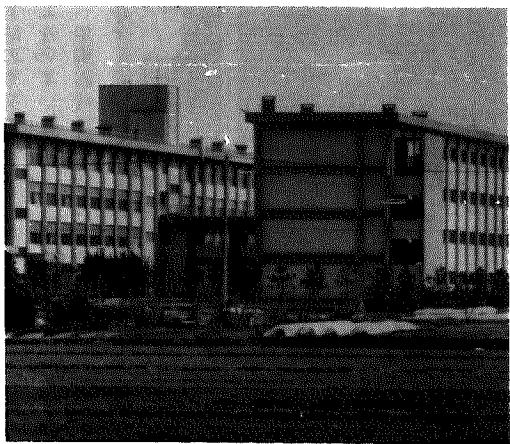


写真 上から

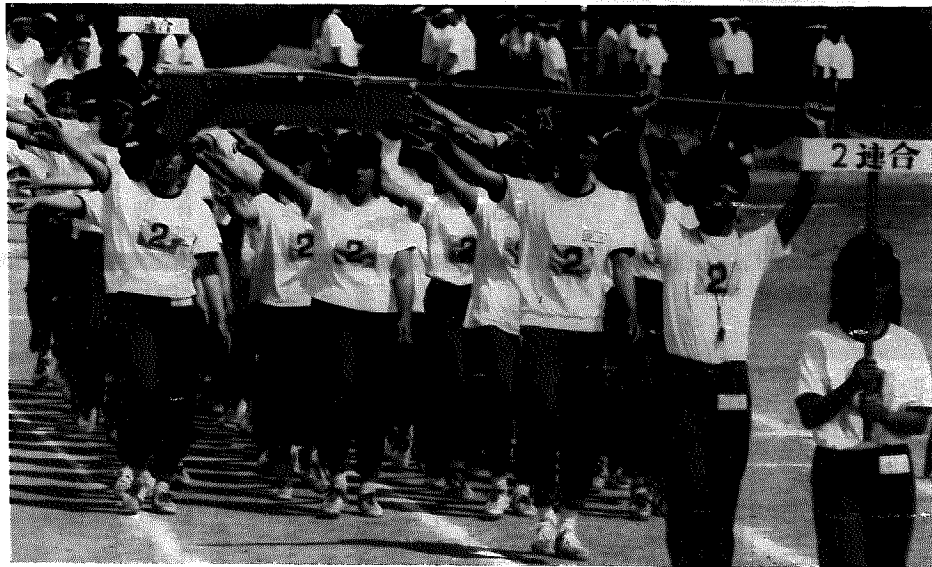
<入学式>
郷土芸能をクラブ活動にとりいれての学校づくりも黒高の特色である。在校生の緑栄太鼓(神雷太鼓)で幕をあけるといふ県下でも珍しい入学式の開幕。今後、棒踊りや花笠踊りなどの郷土文化の学習を進めたい

<LL教室>
生徒一人一人が先生から直接指導を受けられるLL教室での英語学習。このほかにマイコンを使つての学習などもできる

<生徒総会>
よくやると定評のある黒高生徒会。執行部は生徒会員の協力があつてこそだとして生徒総会で訴



<体育祭>
6月15日、燃やせおれたちのファイティング・スピリッツをスローガンにした体育祭は、200名を超える観客のもと各連合が優勝の栄冠を競った。閉会式で声高らかに歌う校歌に、生徒同士のきずなが深まる



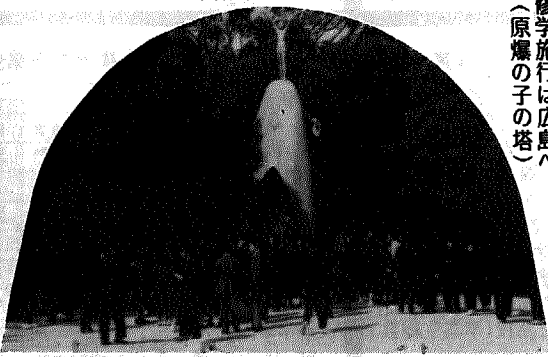
<文化祭(緑栄祭)> 右
文化祭は地域との結びつきを深めるいい機会である。クラス発表、クラブ発表に生徒の力がこめられる。もちつき大会、バザーなどで父兄が大いに参加することも黒高文化祭の特色

<クラブ活動> 左
北信越大会、全国大会に毎年出場して黒高の名声を挙げている相撲部に続こうと各クラブが活動に力をいれている。クラブ活動の活発化が黒高にとっての願い

ガンバレ、黒高卒業生！
卒業生総数2354名 下



仮装コンクール(文化祭)



修学旅行は広島へ(原爆の子の塔)

